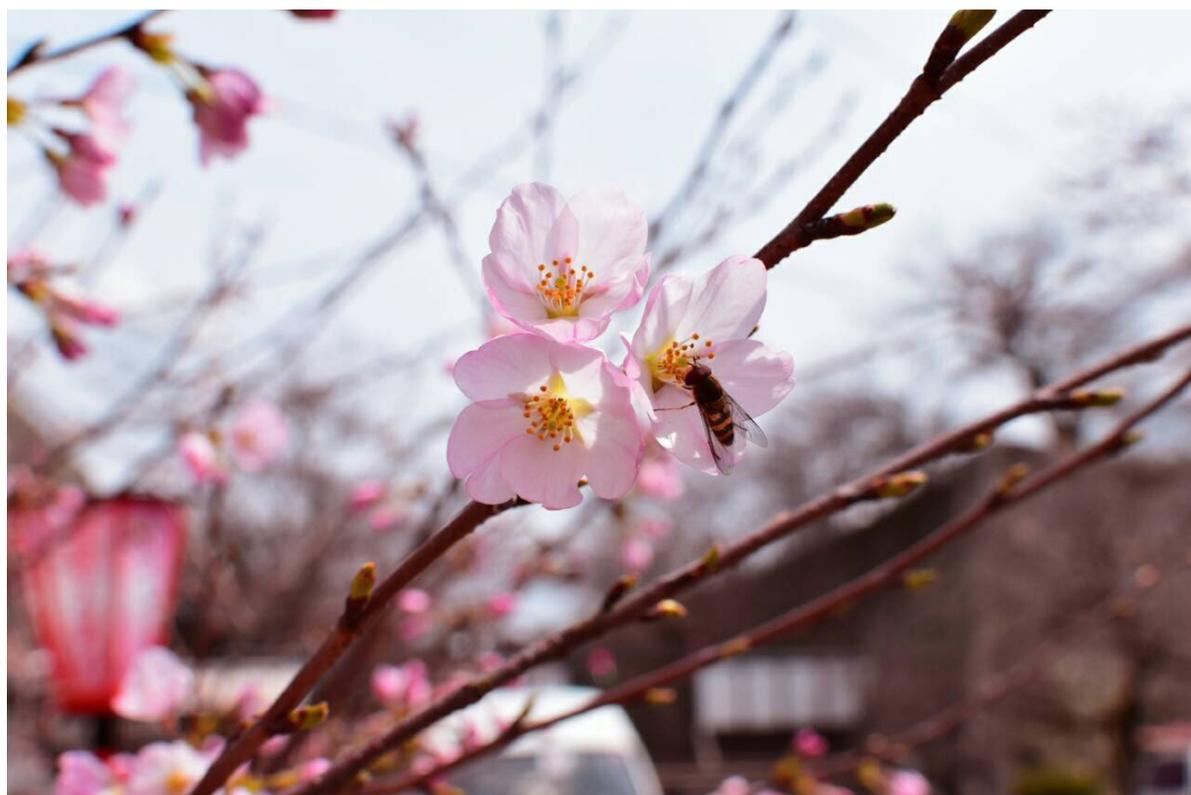


# 第6次事業推進計画

(令和8年度～令和12年度)

超高齢社会にチャレンジ —シルバー人材センターが目指す未来—



公益社団法人

広島県シルバー人材センター連合会

## 1 計画策定の基本的背景

我が国の総人口は、近年減少局面を迎えており令和5年で約1億2,400万人となり、そのうち、65歳以上の人口は、約3,623万人で総人口に占める割合（高齢化率）は29.1%となった。今後も総人口が減少する中で高齢化率は上昇を続け、令和22年には35%となり、3人に1人以上が65歳以上の高齢者となると推計されている。

広島県においても令和7年の高齢化率は、30.1%となっており、令和22年には35.3%と、全国と同様に高齢化が進む見通しとなっている。

このように少子高齢化が急速に進展し人口が減少する我が国においては、経済社会の活力を維持するため、全ての年代の人々がその特性・強みを活かし、経済社会の担い手として活躍できるよう環境整備を進めることが必要とされており、特に、人生百年時代を迎える中、働く意欲がある誰もがその能力を十分に発揮できるよう、高年齢者が活躍できる環境整備等を図っていくことが求められる。

近年、高年齢者の労働力人口や就業率が増加傾向であることや、65歳以降の者が持つ就労に対する意向を踏まえれば、今後さらに、個々の高年齢者のニーズや状況に応じた活躍の場の整備を通じ、働く意欲と能力のあるすべての高年齢者が、年齢にかかわらず活躍し続けることができる社会の実現を図ることがますます重要となっている。

このような中、シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献してきたところである。

しかしながら、会員となりうる高年齢者層が増加しているにもかかわらず、企業における65歳までの継続雇用の定着等により会員の減少に歯止めがかからない状況であったことから、入会促進事業を最重点事業として取り組んだ結果、平成30年度、令和元年度と連続して微増したものの、その後は新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を受け、令和2年度から会員数は減少に転じた。

一方、令和3年4月には改正高年齢者雇用安定法が施行され、企業には70歳まで就業機会を確保することが努力義務とされた中で、センターが高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を図り、地域社会に貢献する役割が明記され、就業機会の選択肢の一つとして期待が大きくなっている。

## 2 計画策定の目的と計画期間

計画策定の基本的背景を踏まえ、今後、センターの目指すべき方向性とその役割を見極め、新たな事業推進の具体的方向を明らかにすることを主たる目的とする。

本計画は、連合会の事業推進計画として策定するものであるが、シルバー人材センター事業は連合会と各センターが一体となって推進するものであることから、各センターにおいて地域の実情に応じた事業計画作成の参考に資するものとする。

なお、社会経済状況の変化が著しいことに対応して、令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間とする。

### 3 基本目標の設定

連合会と各シルバー人材センターが共通認識を持ち、連携して事業を推進するため現状と課題を踏まえ、次の取組みを基本目標とし、計画期間中に達成すべき数値を定める。

第6次事業推進計画では、全シ協が掲げた「新たな仲間づくり計画」に沿った会員目標とし、契約金額及び就業延人員については、コロナ前の令和元年度実績に戻すこととした。

#### (1) 目標数値

区 分	基本目標最終年度 令和12年度	備考
会 員 数 (人)	14,752	全シ協「新たな仲間づくり計画10万人超純増目標数による
契約金額 (千円)	6,428,516	令和元年度実績
就業延人員 (人日)	1,270,462	
傷害事故件数 (件)	70以下	平成27年度から令和6年度の10年間の最低値(平成28年度)

(注)派遣事業実績含む。

#### (2) 各年度の目標数値

年 度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
会員数(人)	13,187	13,563	13,941	14,329	14,752
契約金額(千円)	6,180,318	6,242,367	6,304,416	6,366,465	6,428,516
就業延人員(人日)	1,120,337	1,157,868	1,195,399	1,232,930	1,270,462
傷害事故件数(件)	70	70	70	70	70

(注)契約金額は令和6年度数値を基に各年ごと前年度62049千円増で、就業延人員は前年度37531増で設定。

#### 4 事業推進計画体系図

ーシルバー人材センターが目指す未来ー <b>地域社会に貢献するシルバー人材センター</b>	
《目指す方向》 ① 高齢者である会員の就業ニーズと、地域が求めるニーズにマッチさせること によって、高齢者に社会参加の機会と生きがいを付与する ② 高齢者が現役世代をサポートし、地域社会の支え手として活躍する ③ 高齢者の就業に関して安全と適正に配慮し、高齢期の健康で安心した生活 と社会参加による生きがいの充実	
<b>目標数値</b>	会員数 14,752人 契約金額 64億2851万6千円 就業延人員 127万462人日 傷害事故件数 平成27年度から令和6年度の10年 間の最低値である70件以下



(事業の推進施策) 赤字は重点施策	<b>会員拡大</b>	<b>受注・就業機会の拡大</b>	<b>会員の安全就業の推進</b>	<b>事業運営と組織体制の強化</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及・啓発活動</li> <li>・女性会員の拡大</li> <li>・退会の防止(特に80歳代の働き方改革)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の就業開拓(多様化した就業ニーズに対応)</li> <li>・派遣就業延人員の増加を意識した派遣事業の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業前安全確認・健康管理など安全意識の醸成</li> <li>・研修会、パトロールなどの就業対策計画に基づく取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター運営に関する助言・支援</li> <li>・人材育成等の研修会開催</li> <li>・新契約方法への移行</li> </ul>



<b>現状と課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの認知不足等から、会員数は減少している。</li> <li>・会員数の減少や会員の高齢化等により、就業延人員が減少している。</li> <li>・会員の高齢化等により、転倒・転落など傷害事故が多く発生している。</li> <li>・インボイス制度による事業運営への影響がある。</li> </ul>
--------------	---

公益社団法人広島県シルバー人材センター連合会

事業推進計画策定委員会名簿

(令和8年3月現在)

《委員》

所 属	役 職	氏 名
(公社)広島市シルバー人材センター	事務局長	笹 口 八重美
(公社)呉市シルバー人材センター	事務局長	平 川 康 男
(公社)福山市シルバー人材センター	事務局長	今 川 真 一
(公社)三次市シルバー人材センター	事務局長	富士原 英 基
(公社)廿日市市シルバー人材センター	事務局長	小 田 豊
(公社)安芸高田市シルバー人材センター	事務局長	可愛川 實知則
(公社)神石高原町シルバー人材センター	事務局長	西 本 伸 廣
(公社)広島県シルバー人材センター連合会	理 事	柏 本 浩 明
	事務局長	中 川 一 省

《事務局：ワーキング》

所 属	役 職	氏 名
(公社)広島県シルバー人材センター連合会	次 長	天 野 順 治
	管理課長	北 浦 静 香

広島県シルバー人材センター連合  
第6次事業推進計画

発行日／令和8年3月

発行者／公益社団法人 広島県シルバー人材センター連合会

〒730-0005 広島市中区西白島町24番36号

T E L (082) 502-0468 F A X (082) 502-0478